

6月20日 いいやま斑尾植樹祭を開催

【北信森林管理署】

6月20日（土）、飯山市の斑尾高原 希望湖周辺の大平峰 国有林において、信州いいやま観光局、斑尾高原観光協会、北信森林管理署共催のいいやま斑尾植樹祭が開催されました。



開会式の様子

この植樹祭は、カラマツの伐採跡地に「まだらおの森で、次の100年を育てよう。」のスローガンのもと、カラマツから広葉樹へと森を更新するイベントとして開催されました。



植樹の様子



親子で植樹を楽しむ様子

一般応募にて老若男女様々な参加者が集まり、ブナ、ミズナラ、キハダ、クリ、ホオノキの5種類の広葉樹600本程度を、クワやスコップを用いながら1本1本植樹しました。参加者からは、「こういった場所で植樹するというのは中々体験できないので、いい経験になった」、「穴を掘るのが楽しかった、また植えてみたい」といった声も聞こえ、植樹を楽しみながら、広葉樹が持つ生物多様性への理解を深めるとともに、森づくりへの関心を高めました。100年後の森の姿を楽しみに、これからの成長が期待されます。



参加者の皆様